

第44回武豊町地域公共交通会議 議事録

日時：令和5年6月26日（月）

14：00～16：10

武豊町役場 北庁舎2階 全員協議会室

○司会（防災交通課長 長谷川）

- ・皆様こんにちは。それでは定刻となりましたので、ただいまから「第44回武豊町地域公共交通会議」を開催させていただきます。委員の皆様方におかれましては、大変お忙しい中、ご出席を頂きまして、誠にありがとうございます。
- ・会議に入ります前に、欠席者及び代理出席者のご報告をさせていただきます。名簿7番武豊町商工会会長の橋詰委員、15番の愛知県交通運輸産業労働組合協議会幹事の桑山委員からは所用のため欠席のご連絡を頂いております。また、名簿10番の愛知運輸支局の宮川委員から代理で堺様に、17番愛知県知多建設事務所維持管理課課長の水田委員の代理で若山様に代理出席をして頂いておりますので、宜しくお願い致します。
- ・併せまして、本日の傍聴人は0名です。ご承知おき下さい。なお、この会議は公開で行い、開催内容につきましても、町のホームページなどで広くお知らせしますので、宜しくお願い致します。
- ・また、皆さんの机の上に配布させて頂きました資料が、差し替え及び追加の資料となります。
1枚目の「次第」は、「6.その他」の2つ目に「電動バスの導入について」を追加しました。
2枚目のA3折り畳みの紙が、資料7の一番最後「令和6年度ゆめころん（赤ルート）線に係る生活交通確保計画」の修正後の資料となります。3枚目の紙が、先ほど次第のその他で追加した資料となります。
また、該当する方には、委員報奨金の支払いに関する用紙があります。地域公共交通計画の冊子も配布させて頂いております。後ほどご説明致します。それでは、お手元の次第に沿って進めさせていただきます。

1. 委嘱状交付(新委員の紹介)

○司会（防災交通課長 長谷川）

- ・はじめに、次第の「1. 委嘱状交付」です。
- ・今年度、新しく委員になられました5名の委員の方々へ町長より委嘱状の交付をさせていただきます。お名前をお呼びしますので、その場でお立ち下さい。
1番 武豊町議会 議長 青木信哉（あおきしんや）様
6番 武豊町老人クラブ連合会 副会長 栗本孝成（くりもとたかなり）様
10番 愛知運輸支局 宮川高彰（みやがわたかあき）様
16番 愛知県 都市・交通局 交通対策課 担当課長 石屋義道（せきやよしみち）様
17番 愛知県 知多建設事務所 維持管理課 課長 水田昌孝（みずたまさたか）様
以上となります。皆様、どうぞ宜しくお願い致します。

○司会（防災交通課長 長谷川）

- ・続きまして、次第の「2. 会長あいさつ」です。開会にあたりまして、会長であります、靄山芳輝武豊町長よりご挨拶を申し上げます。会長、宜しくお願い致します。

2. 会長あいさつ

○靄山町長

- ・こんにちは。本日は大変ご多忙の中、第44回武豊町地域交通会議に出席頂き、ありがとうございます。座長の伊豆原先生を始め、委員の皆様には、日頃からそれぞれのお立場で町行政、公共交通事業に対してご支援、ご協力を頂き、改めて御礼申し上げます。
- ・さて、コミュニティバスの利用者数の推移です。後ほど担当からご報告させていただきますが、コロナで一時的に減少していましたが、徐々に回復し、5月は、ひと月当たりの利用者数が、運行開始以降、一番多い結果となりました。
- ・また、本町の令和5年6月議会の定例会におきまして、地方統一選挙後の初めての議会となりますが、3名の町議会議員から、コミュニティバス及び接続タクシーに関する一般質問を頂きました。質問の内容をせつかくの機会ですので、5点ほど報告させていただきます。1点目は、バス停留所が無い公共施設や地域への延伸、2点目は改編後の利用者数の変化、3点目は財政投入額の妥当性、4点目は近隣市町との連携、5点目はバスの双方向や台数追加の可能性など、様々なご質問を頂戴しました。こうしたことから、多くの町民の方々が、コミュニティバスに対して高い関心を持っていることを改めて認識させていただきました。
- ・その他でご報告させていただきますが、昨年度中に導入ができなかった青ルート電動バスにつきましては、様々な調整をさせて頂き、事業者様のご理解もありまして、8月運行開始を目途に調整を進めているところであります。具体的な日程等決まりましたら、改めて委員の皆様にお知らせをさせて頂きたいと思っております。
- ・今後も、より多くの方々にコミュニティバスを利用して頂けるよう、委員の皆様と共に検討して参りたいと思っております。
- ・本日は、報告事項3件、議案1件を予定しています。
- ・皆様から忌憚のないご意見を頂きますようお願い申し上げます。私からの挨拶とさせていただきます。

3. 役員を選出

○司会 防災交通課長（長谷川）

- ・続きまして、次第の「3. 役員を選出」です。

「規約」の第5条第3項において、副会長及び会計並びに監事は会長が指名する事となっております。この度、監事2名が変更となりますので、規約に基づき、会長から指名して頂きたいと思っております。会長、宜しくお願いします。

○靄山会長 武豊町長

- ・会長からの指名という事ですので、監事2名をご指名させていただきます。
- ・監事を名簿の1番、武豊町議会 議長の青木信哉様と名簿6番、武豊町老人クラブ連合会副会長の栗本孝成様をお願いしたいと思います。宜しくお願い致します。

○司会 防災交通課長（長谷川）

- ・それでは、青木様、栗本様、宜しくお願ひ致します。

4. 愛知運輸支局より

○司会防災交通課長（長谷川）

- ・続きまして、次第の「4. 愛知運輸支局より」お知らせがあります。事前に資料と同封しました「活発で良い議論ができる会議のために。」をご覧ください。
- ・ご説明につきましては、愛知運輸支局の堺様、宜しくお願ひ致します。

○堺代理 愛知運輸支局

- ・資料の説明

○司会防災課長（長谷川）

- ・ありがとうございました。
- ・それでは、改めまして本日の出席委員は、16名です。「規約」第6条第3項の規定による、過半数を超えるご出席を頂いており、本日の開会要件を満たしておりますので、これより議事に入らせて頂きます。
- ・また、「規約」第5条第5項に「座長は交通会議の議長となる。」とありますので、座長であります、伊豆原先生に進めて頂きます。先生、宜しくお願ひ致します。

5. 報告事項及び議案

（報告事項）

●報告事項1 本町における地域公共交通の利用実態について……資料1～4

○伊豆原座長

- ・それでは、次第に沿って会議を進めさせて頂きます。時間の許す限り、ご発言とお知恵を頂戴したいと思います。本日は報告事項3件、議案1件、その他2件が予定されております。
- ・報告事項1の「本町における地域公共交通の利用実態について」です。事務局より説明をお願いします。

○事務局説明（田中）

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。ただいま、地域公共交通の利用実績について報告がありました。ご質問等ありますか。

○堺代理 愛知運輸支局

- ・資料 2-1 接続タクシーの利用実態について、制度が令和 4 年 10 月に変更されたということで、令和 4 年 9 月までが制度変更前だと思うが、比較して、利用者数はどのような変化が見受けられたかわかれば教えて欲しい。

○事務局（田中）

- ・大きな変動は無い状態で推移してきている。その結果も含め、昨年度に引き続き、今年度も高齢者が集まる場所に出向き、改めて制度の周知に努めて参りたい。

○櫻場委員 武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会代表

- ・接続タクシーについて登録することで登録者がどんな方なのかを把握できるが、登録しないと使えないという事はハードルを上げていていると思う。登録しなくても利用できる方法は無いだろうか。

○事務局（田中）

- ・おっしゃる通り、登録が無ければ利用できないため、ふと使いたい時に使えないというご意見もある。これまで実施し、過去の事例も含めてお答えさせて頂くと、利用者と接続タクシー事業者との間で予約の行き違いやトラブルが発生した事があると聞いている。そのため、トラブルを防ぐためにも、現時点では事前にご登録頂き、トラブルに繋がりにかからない利用が見受けられる方には、注意できる体制をとっている。
- ・登録に関するハードルについては、生活の足を考える会の定例会においても櫻場委員より、防災交通課窓口のみとなっている登録窓口を、高齢者が集まる場所でも登録できるようにならないかのご意見を頂戴しているので、今年度はそういった部分の対応も考えている。

○伊豆原座長

- ・ハードルを下げる仕組みを作っていく事は大切です。宜しくお願い致します。その他、ありますか。

○青木委員 武豊町議会議長

- ・登録のハードルに関するご意見がありました。65歳以上の免許返納者、70歳以上の方は無料乗車券が利用できるが、免許返納時に自動的に登録できないか。タクシー事業者との行き違い等で利用者を把握したい部分があると言っていたが、免許返納時であれば自動的に登録の対応ができるのではないか。

○事務局（田中）

- ・免許返納手続きは半田警察署で行っている。免許返納者の情報は町に報告があがってくるものではないため、今の仕組みでは町の方で自動的に登録する事ができない。
- ・警察署には免許返納者に対し、防災交通課窓口にて無料乗車券の交付が受けられるご案内をして頂いている。その案内を基に、窓口に来られた方には、無料乗車券を交付している。

○青木委員 武豊町議会議長

- ・免許返納報告を防災交通課窓口に来た時点で、無料乗車券の交付と接続タクシーの登録は可能かという事。

○事務局（田中）

- ・窓口にお越し頂いた時点で、無料乗車券の登録はさせて頂いている。コミュニティバスと併せて接続タクシーの登録も必要であれば、登録をさせて頂いている。

○伊豆原座長

- ・警察署で特典として紹介される事は良い仕組みです。引き続きお願いをして頂ければと思う。

○宮地委員 富貴地区区長会会長

- ・登録の際は、防災交通課窓口に来る仕組みになっているが、富貴地区には富貴支所がある。支所でも受付対応出来るようになると思う。

○事務局（田中）

- ・現状、手続きをして頂くと、その日のうちにその場で無料乗車券をお渡ししている。無料乗車券発行に基づくデータや仕組みが防災交通課にしか無い状態だが、一旦、申請書の受付窓口となって頂き、防災交通課で発行した無料乗車券を後日お渡しする仕組みであれば可能かと思うので、富貴支所の担当とも話をして検討していきたい。

○伊豆原座長

- ・事務局で努力してもらえるとと思うので、宜しくお願い致します。

○金森委員 知多乗合株式会社取締役社長

- ・少し教えて頂ければ。資料1で運行開始以来、コミュバスの5月の輸送人員が最高との報告があった。一般乗合の事業を営んでいるが、2019年、コロナ以前と比べて、まだまだお客さんが戻っていない。現在、8割～8割5分くらいの戻りだが、これがゴールになりそうで非常に心配している。月間の輸送でも過去を上回っているという事で、どのあたりの客層が増えているのか。
- ・もう1点、同じく資料1の令和元年9月の運賃収入を見ると55万8千円、一方で、令和5年5月は20万2千円という事で、この要因は何か。昔の事で分からないので教えて欲しい。

○事務局（田中）

- ・客層について、武豊町においては、高齢者が約6～7割の利用を占めている。運賃収入と関係するが、令和元年10月に、高齢者に対して無料にする仕組みを導入した。65歳以上の免許返納者、70歳以上の高齢者に無料乗車券を交付している。こうした結果、高齢者が多く利用される一方で、運賃収入は大きく減少した形となった。
- ・客層の部分について、今後は、運賃収入増のためにも、全年齢層の利用を促していけるように画策している。

○伊豆原座長

- ・青ルートは令和4年10月に、逆方向に循環する形へ変更した。一時期、利用者が減少してしまったので、利用者の皆さんが戸惑われているのかと様子を見ていたが、利用者数が回復・上昇した。認知して頂けるようになり、使い勝手も良くなった結果かと思っている。

- ・意見を聞ける機会があれば、良い点、悪い点を整理出来ると良い。
- ・先ほどの富貴支所での対応も、どんな変化があるのか、一緒に考え、知恵を出し合っていく事が大切だと思う。
- ・利用状況を見ていて有難く、これからも利用者数が増えていくと良いなと思う。
- ・その他ご質問ありますか。皆さんで利用実態を確認したとして次に進んで宜しいでしょうか。
- ・特にご意見ありませんので、利用実態は確認されたとして、進めさせていただきます。

●報告事項2 令和4年度地域公共交通事業の事業報告及び決算報告について…資料5-1~3

○伊豆原座長

- ・続きまして、報告事項2の「令和4年度地域公共交通事業の事業報告及び決算報告について」です。事務局より説明をお願いします。

○事務局説明（田中）

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。続いて、令和4年度の監査報告について、昨年度の監査委員が2名とも代わられているため、事務局より代理で報告をお願い致します。

○事務局（田中）

- ・監査報告を事務局よりさせて頂く。資料5-3「令和4年度 武豊町地域公共交通会議 決算報告」にありますとおり、去る4月11日、役場防災交通課にて関係書類に基づき監査を行った結果、適正に処理されている旨を確認頂きましたので、ここにご報告致します。

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。ただいま、事業報告と決算報告並びに監査報告を頂いた。ご質問、ご意見ありますでしょうか。ご了承頂いたとして進めて宜しいでしょうか。
- ・特にご意見無いようなので、了承頂いたとして次に進みたいと思います。

●報告事項3 利用者アンケートの実施について…資料6-1~3

○伊豆原座長

- ・続きまして、報告事項3の「利用者アンケートの実施について」です。事務局より説明をお願いします。

○事務局説明（田中）

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。コミュニティバス利用者アンケート、接続タクシーの登録者のアンケートについて説明頂いた。ご質問などありますでしょうか。ご指摘でも結構です。

- ・私も目を通し、問6を追加させて頂きました。これから町で公共交通の事業を進めていく中で、住民の皆さんに、問いかけの形で協力出来る事を伺うように、事務局をお願いした。ご利用されているのは住民の皆さんなので、良いまちにする方向性を見出す事が出来れば有難いなと思い、このような質問をお願いした。
- ・施策を展開する上で、住民の皆さんに何をして欲しいかを要求、思っておられることを聞くというのもアンケートだが、こちらから問いかけのような形で、住民の皆さんに考えて頂くようなものが出来ないかという事で作って頂いた。私も結果を期待している。
- ・9月頃、出来る限り暑い時ではなく、涼しくなった頃、皆さんが家から外へ出る機会が増える頃を狙って対応頂ければと思う。集計等、時間がタイトになると思うが、宜しく願い致します。
- ・何か、ご意見、ご質問等ありますでしょうか。

○堺代理 愛知運輸支局

- ・コミュニティバスの利用者アンケート調査は、利用する方に対する調査となっている。利用されない方への聞き取りができると良いかと思う。接続タクシーについては、登録しているけど使っていない方へ問いかける質問がある。

○事務局（田中）

- ・住民の方に向けたアンケートとして、複数年で計画している。5年度は利用者アンケート、来年度の6年度に住民アンケートを3,000人に対して実施する予定をしている。

○伊豆原座長

- ・住民アンケートは大変で、毎年実施できないので少し時間を空けて実施している。利用されていない方からのご意見はそちらで頂けるかと思う。
- ・出来れば、接続タクシーから類推するが、タクシーの活用策について何か見つけられると良い。登録されたが利用されていない方のご意見もうまく聞き出せればと思う。その点も、タクシー事業者の方にも関心を頂けるのではないかと思う。

○森川委員 安全タクシー株式会社代表取締役

- ・接続タクシーについては、これまでと同様な課題として、登録者は増えるが、利用が増えない。事業者としては登録して頂いて、接続タクシーの利用とわかると、優先的に配車もし易くなるので、今の状況としてはやり易い状況でやらせて頂いている。私共としても事業認知をしっかりとやらせて頂ければと思う。

○伊豆原座長

- ・ありがとうございます。
- ・先ほど金森委員からも話があったが、路線バスがまだ8割5分の回復に対して、ゆめころんの利用が過去最高というギャップがある。

○金森委員 知多乗合株式会社取締役社長

- ・利用者アンケート調査の問6の投げかけは有難い。諸物価が上昇している中で、公共交通も電気・ガス・水道と同じものだと見られがちである。我々、運営側としては、運転手の給料

を上げていかないといけない、経営の高止まり、乗務員の確保などにかなり苦労している中で、運賃改定を申請している事業者も散見される状況である。いわゆるサービス対価について皆さんご意識頂く中で、より良いものを作り、便利、安全、安心にしていこうという空気が醸成されていくと良いと思う。

○伊豆原座長

- ・ありがとうございます。
- ・ぜひ結果を含めて分析できると良いなと思います。
- ・来年は地元住民の皆さんにも問いかけをする。その結果も委員の皆さんに見て頂くことになるので、宜しくお願い致します。
- ・ご質問等ありますでしょうか。了承頂いたとして進めて宜しいでしょうか。
- ・特にご意見無いようなので、了承頂いたとして次に進みたいと思います。

(議案)

●議案第1号 令和6年度生活交通確保維持改善計画(案)について……資料7

○伊豆原座長

- ・ここから、議案となります。議案第1号「令和6年度生活交通確保維持改善計画(案)について」事務局から説明をお願いします。

○事務局説明(田中)

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。地域公共交通確保維持改善事業、生活交通確保維持改善計画について説明頂いた。今月中に愛知運輸支局に提出する事になります。事務局への説明でもあったが、報告後の字句の訂正等については、会長、座長、事務局へ一任という事をお願いしたい。ご質問、ご意見ありますでしょうか。
- ・宜しいですか。もしなければ、愛知運輸支局に確認頂き、国への補助金申請を行う。A3用紙の資料は、市町を跨ぐ路線である地域間幹線系統の赤ルートについて。愛知県が各市町の提出資料を取りまとめ、県の法定協議会で協議される。県の会議は先週開催されたと記憶している。県から、国に申請する手続きとなる。本来は地域間幹線系統とフィーダー系統について、一緒に議論すべきだが、資料として整理をさせて頂いている。ご質問無ければ、この形で提出させて頂きたいと思う。
- ・私の方から先に申し上げて良いかわからないが、補助金の仕組みについて、法定協議会であるこの地域公共交通会議の財務へ、フィーダー系統の補助金は振り込まれる形に変更される。財務規程等の見直しが必要となり、事務局で整理し、委員の皆様にご議論頂く事になると思う。事前に情報をお伝えさせて頂くので、宜しくお願い致します。
- ・皆さんのご異議が無いとして進めて宜しいでしょうか。
- ・全員の同意を頂いたとして、進めさせて頂く。議案はここまでとなります。

6. その他

●武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会の活動計画等

○伊豆原座長

- ・それでは、次第の「6. その他」に移ります。「武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会の活動計画等」についてです。会長であります櫻場さんよりご報告をお願い致します。

○櫻場委員 武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会代表

- ・前回の会議の時に、今年度の活動目標を報告させて頂いた。
- ・今考えているのは、バスの利用を増やすため、従来は高齢者、交通弱者を中心に考えてきた。今の利用者は固定化されている。自動車を持っている人は、声をかけてもなかなか使って頂けない。バスを移動手段だけではなく、遊びの方法として使えることも示したい。武豊町は面白い所がたくさんある。バスの利用と併せて、面白い所を経験してもらう事で、楽しさが増えるという仕掛けをしたい。
- ・その中の一つとして思い付きだが、武豊町には憩いのサロンが各箇所にある。バスもサロンの一つとしたい。内容は具体的にはまだ考えていないが、お話し、音楽演奏、朗読などを出来ないかと考えている。いつもは出来ないと思うので、毎月1日の午前中など日程を決めて、バスの宣伝、移動の手段以外でも使えることをPRし、バスの利用者増に繋げていく事を今年度の目標として活動したいと考えている。

○伊豆原座長

- ・良い話を頂いた。
- ・私からも雑談のような話になってしまうが、コミュニティバスの概念が出来たのは約25年前。日本全国で1番最初に実施したのは東京の武蔵野市、ムーバスというバスが最初。私も若い頃に視察等で行った。
- ・櫻場さんが仰っていた事と似ているが、当時、若い小学校1年生の子供をもつお母さんが使い方について面白い事を仰っていた。私は100円で1時間、自分の時間を買いましたと仰っていて、何かと思っていると、近くのバス停で30分に1回戻って来るムーバスに自分の子供を100円で乗せる。バス停でお母さんは待っているからバスに乗って2回、周っておいでと伝え、戻ってくる1時間の間、お母さんは自分の自由な時間を1時間作ったという事だった。目から鱗だった。
- ・私たちのような交通の事を勉強している立場からすると、移動手段として交通の事を考えてしまうが、そういう使い方もあるのかと目から鱗だった。
- ・そういう意味でバスという仕組みが移動の目的だけなのかと考えた時に、自分たちの生活の中にどうやって組み込んでいけるか。ムーバスだけではなく、ゆめころんも少し時間がかかるが1周して運行している。車は生活の中に溶け込んでいて、無意識にキーを持たれているが、バスも上手な使い方、櫻場さんが仰っていた、いわゆるサロンとして使う事も1つの方法だと思う。バスを楽しい時間として、生活の中に組み込んでもらえると良いと思う。

○櫻場委員 武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会代表

- ・私個人の事でもあるが、免許返納して、今は移動手段として自転車を使っている。80歳が自転車を使うのは危ない。歩道を走る分には車から離れるので良いが、がたがたで走りにくい。何とかして頂けないかなということで発言させて頂く。

○ 榎山会長 武豊町長

- ・ありがとうございます。議会の方でもそういったお話を頂いている。自転車だけではなく障がい者の方に対しても。いわゆる乗り入れがあるが、昔の基準で作られた歩道と現在作られる基準が異なる。北部第一の1番最初に区画整理をした歩道と、東武線の歩道では作り方が違う。全ての歩道に対応するのは大変な費用が掛かるので、良く活用されている所の調査もしながら、どこが対応出来るかを検討していきたい。議会の方からもそうしたお話を頂いているので、承知している。

○ 青木委員 武豊町議会議長

- ・冒頭の町長の挨拶の中で、6月議会の定例会で3名の議員からコミュニティバスについて議論がなされた。町民の関心が大きい、なおかつ、現状への不満があるのかと思う。ルート変更もあり、戸惑っている方もいたかもしれないが、現状5月は多くの方が利用していたということはわかった。
- ・他の公共交通機関との連携についての話も出ており、具体的な名前を出すと、常滑市のコミュニティバスのグリーンが武豊町に乗り入れている。ここでお願いすることでは無いかもしれないが、知多武豊駅以外でも連携できるバス停が出来ないかと思っている。
- ・もう1点、接続タクシーの利用が、特定のバス停だけの利用に限定されている。今の制度では、自宅から最寄りのバス停留所に限定されている。ルートを見ると、赤・青ルートの混ざったエリアがあり、赤・青ルートの進行方向が逆なので、どちらか1箇所ではなく、赤ルート1箇所、青ルート1箇所、それぞれの最寄りのバス停留所で利用出来ないのかと思った。行きたい方向と逆方向になる時があり、反対側であればすぐに目的地に着くのにと思ってしまう。その辺りが何とかならないかと、コミュニティバスのルートと接続タクシーの利用状況を見て個人的に思いました。

○ 伊豆原座長

- ・常滑市のコミュニティバス・グリーンのバス停設置については、どのように整理するか。武豊町の中にはグリーンのバス停は知多武豊駅だけである。武豊町の地元の方からしたら、使い勝手が良いれば、良いことだと思う。ここで話をしたから決まりという訳では無いので、色々な視点で、皆さんで議論できれば良いかと思う。

○ 青木委員 武豊町議会議長

- ・現状、常滑市のグリーンは、檜原の公民館で停まった後は、知多武豊駅まで停留所が無い。距離があるので、途中でグリーンのバス停があれば有難いのかなと思う。

○ 伊豆原座長

- ・いわゆる転回場所をどこで上手くやるのか、時間調整など上手くできると良いのかなと思う。

○ 深谷委員 愛知県タクシー協会専務理事

- ・あくまでグリーンは常滑市が運行しているコミュニティバスであるので、それを武豊町の町民が利用する事となると、町の費用負担が発生する事も考えられる。その点も含めて考えて頂く必要があるのではないかと思います。

○伊豆原座長

- ・バス停留所の設置費用なども発生するだろうと思います。
- ・事務局も何かあれば発言を。

○事務局（田中）

- ・グリーンに関しては、議会においても、バス停を増やせないのかというお話は頂いている。深谷委員にもお話頂いたが、費用負担については発生するかもしれない事を事務局も把握しておかなければならないことと認識した。今回、武豊町の地域公共交通会議で、グリーンのバス停を増やす事に関してご理解頂いたら、改めて町から常滑市へバス停設置について相談に伺いたいと思う。青ルートは武豊中央公園、赤ルートだと北中根であれば接続出来るかと思っている。他にも以前、接続タクシーの停留所を設置していた辺りとなるが、常滑市の檜原方面から町に入った辺りの住宅街も候補になるのかと思っている。いずれにしても、今回のお話を受け、常滑市の地域公共交通協議へ相談をさせて頂きたいと考えておりますが、宜しかったですでしょうか。

○伊豆原座長

- ・色々な条件の話があり、本音で話してもらおう事になるかと思う。転回場所の話、費用負担の話などある。常滑市側の条件に合う、合わないもある。ある町では負担の議論もしており、私がお手伝いしている所では、駅へ行くために、隣の市町にバス停を作っている所がある。そうするとその住民の皆さんがお使いになるので、事業費の負担金を少しお手伝いしている所もある。
- ・必ずしもそういう事があるかわかりませんが、常滑市の担当者と情報交換をして、上手くいく方法をお話する必要がある。
- ・グリーンは無償なので、道路運送法上の制約は無いが、愛知運輸支局とも相談しながら、助言を頂いたらどうかと思う。
- ・2点目の接続タクシーへのご意見について、事務局より回答頂けるか。

○事務局（田中）

- ・令和4年10月の制度改編時も、住民の方からは最寄りの停留所について、ご意見頂く場合もありましたが、自宅に近い最寄りのバス停とする統一のルールで実施させて頂いております。ただ、制度改編をして半年経っていますが、利用者数がなかなか伸びないという実情や、今回実施するアンケート、住民団体である「生活の足を考える会」のご意見も踏まえて調査研究して考えて参りたい。

○伊豆原座長

- ・アンケート調査を踏まえて、議長提案の件について検討を。
- ・登録も無く、利用もされていない地域もあるかと思う。そちらの地域に対しても考えていく必要がある。

- ・家まで来てくれることに対して遠慮があるかもしれない。気楽に使って良いと思って頂けるかも確認できると良い。半年程だが、アンケート調査結果が出るまで時間を頂戴出来ればと思う。

○金森委員 知多乗合株式会社取締役社長

- ・労働基準の改善基準告知について発言したい。昨年の10月からゆめころんの受託運行をさせて頂いているが、資料7の生活交通確保維持改善計画に添付されている運行ダイヤを確認しながらお話させて頂きたい。現時点で大問題だという話ではないが、次回以降、ダイヤを見直しする際には、運転手の休憩時間の取り方を確認できればと思う。改善基準告知ではどちらかというと運転手の休憩時間をしっかり取るために、来年の4月に改定されるという事で、運送業界では2024年問題として大騒ぎしている所である。運転手に輸送の安全確保のために十分な休憩時間を取らせる事、一つの事例として、4時間につき30分の休憩を与える、30分の休憩時間は10分以上の分割は可能のため、4時間のハンドル時間外で、15分、15分と休憩を取らせるのは良い。例えば、赤ルートの205—209便のダイヤは、12時55分から運行開始し、17時45分まで4時間50分の間に10分の休憩が何回かある。これが運行ダイヤ通りであれば、何ら問題は無い。私も心配になって何回か確認し、大幅な遅延があるような事は無いということで、特段問題がないのが現状。ただ、法令ぎりぎりの所で、何かあればアウトという運行ダイヤである事をご認識頂きたい。こういったケースがコミュニティバスの場合、愛知県内でも相当散見されており、私もかれこれ10年くらい担当しているが、各自治体には10分、10分、10分の休憩はまずいと思うので、もう少し余裕を持ったダイヤ設定をお願いしている。
- ・次回、見直しを行う中で、あるいは走行環境が変わる際には、ご検討頂けると有難い。

○伊豆原座長

- ・実態の調査、データは大切である。休憩時間は大切で、早着は出来るが、早発は出来ない。何分か遅れてくると運転手も焦る。運転手は時刻表通りの運転を心がけているので、安全性の担保からも、余裕を持ったダイヤ、仕組みは大切。データでチェックし、今後の検討をお願い致します。

○金森委員 知多乗合株式会社取締役社長

- ・タコグラフでデータは取っている。

○伊豆原座長

- ・色々な検討をしなければならない。公共交通の話は、手段・方法は1つだけでは無い。ベストの回答を見つけるためには、ベターの方法からやるしかないなので、少しでも改善、良い方向へと目指していく事が大切かと思う。
- ・何かご意見ありますでしょうか。

○天木委員 長尾部部長

- ・安全性というお話が出た。赤ルートに乗ることがあるが、アオキスーパーを過ぎて、砂川公園の横を通過して、クランク、踏切があってイオンへ向かうが、その道は朝晩非常に対向車が多く、砂川公園での乗り降りは少ないため、アオキスーパーからは北上すれば良いのかと思

ってはいたが、そうするとイオンには右折で入らないといけないので、非常に大変かとも思った。以前、青山駅へ延伸した際に、名鉄横の道路を走っていたが、安全性から今の道に変わったという経緯があるものの、他に良い方法があればと思うので、何か機会があれば検討頂きたい。

○伊豆原座長

- ・赤ルートの懸案の場所になる。延伸の際には随分事務局も苦労し、現在のルートになっているが、課題がある。これからの改善点として承っておきたい。
- ・改善すべき点は他にもいくつかあると思いますが、また皆さんからもご意見頂きながら進めていきたい。
- ・グリーンの話、接続タクシーの話は検討課題としたいと思う。

●電動バスの導入について

○伊豆原座長

- ・次に、電動バスの導入について事務局よりお願いします。

○事務局（田中）

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。8月から運行予定で進めているとの報告。色々と努力頂いているかと思う。
- ・ご質問ありますか。無いようです。
- ・本日は、大変多くのご意見をありがとうございました。進行を事務局にお返しします。

7. 閉 会

○司会（防災交通課長 長谷川）

- ・伊豆原先生、ありがとうございました。
- ・それでは、次第の「7. 閉会」に移ります。閉会にあたりまして、会長であります靱山芳輝武豊町長よりご挨拶を申し上げます。

○会長：靱山町長

- ・本日は長時間に渡りありがとうございました。委員の皆様からは、貴重なご意見、ご提言をたくさん頂きました。ありがとうございました。伊豆原先生、進行ありがとうございました。
- ・話は逸れますが、「町長への手紙」を頂きました。あまり褒められることはありませんが、バスの関係で褒められた手紙を頂きました。内容は、80歳の女性ですが、通院や買い物で助かっており、停留所のベンチも有難いとのことでしたので紹介させていただきます。
- ・今年度中には、全停留所看板の更新、バス車内の抗菌・抗ウィルスコーティングも予定しております。また、年末年始の運行につきましても準備を進めております。
- ・会議では委員の皆様にご意見頂きまして、私が聞き逃していなければ、5点ほどご意見があったかと思えます。

- ・ 1点目は、アンケート調査では、住民さんの期待を把握する事が大事である。
- ・ 2点目、櫻場さんの方からは憩いのサロンのバスということでお話頂きました。町内で1番高い山として紹介している警固山ですが、行ったけど草むらになっているというご意見を頂きましたので整備を予定している。町内の見所については、櫻場さんにもお話を頂きましたが、バス停留所などにイラストを作って、ここに行けるよという紹介をすると良いかなと思いました。参考にさせて頂き、より多くの方にご利用頂ければと思います。
- ・ 3点目、常滑市のグリーンですが、当面は担当で調整をさせて頂き、交通会議の場に挙がっていくかどうかであります。
- ・ 4点目、知多乗合さんから頂きました運行につきまして、実態としてダイヤの余裕が無いぎりぎりの状態であるので、運行時間の再検証の必要性があると感じました。
- ・ 5点目、長尾部長さんから頂きました、赤ルートにつきまして、検証する必要があると感じました。
- ・ 以上、ご指摘頂いた点を整理させて頂きました。ご指導ご鞭撻を頂戴し、ありがとうございました。より良いまちにしていきたいと思っております。本日はありがとうございました。

○司会（防災交通課長 長谷川）

- ・ 次回「第45回武豊町地域公共交通会議」は、令和5年12月に開催する予定です。
- ・ ありがとうございました。以上をもちまして「第44回武豊町地域公共交通会議」を閉会いたします。ありがとうございました。

以上